

令和6年度 特別支援教育センター専門研修7

「早期からの一貫した教育支援～教育的ニーズの整理と学びの充実～」

令和6年9月10日(火)に、「早期からの一貫した教育支援」についての専門研修講座を実施しました。



講義1では、「早期からの一貫した教育支援の重要性」や「教育的ニーズ」「教育的対応」など、基礎的な知識について、「障害のある子供の教育支援の手引」をもとにお伝えしました。受講者からは「早期からの一貫した教育支援の重要性を改めて感じた」「教育的ニーズは変化する。だからこそ、その都度見直し・改善を図ること、一人一人の教育的ニーズを捉えていく目や知識が大事になると感じた」などの感想が寄せられました。

演習では、対象となる子どもについて「教育的ニーズの整理」を行い、適切な指導や必要な支援について、改めて考える機会としました。演習中には、「背景・要因が出ると、その先の手立てにつながりやすいことが分かった」「この手立ては指導なのか、支援なのか」「どうしても幼児段階では支援が多くなる」などの受講者の声がありました。対象となる子ども一人一人の困難さに応じた、「指導」と「支援」について改めて考える機会となったようです。

また、感想には、「教育的ニーズの整理においては、実態把握が大切であると感じた」「子どもの行動に対して“なぜ？”“どうして？”と考えることが大事だと改めて感じた」「指導と支援のちがいがよく分かった」などのコメントが寄せられました。



協議では、一貫した教育支援を実現するための連携の在り方について、グループに分かれて話し合いました。

受講者からは「保護者との連携では、子ども一人一人の成長を伝えたり、共に喜び合ったりしながら連携を深めたい」「連携のためにも“対話をする”ことの大切さを改めて実感することができた」「様々なアイデアを聞き、自分の視野を広げることができた」などの声が聞かれました。「早期からの一貫した教育支援」を更に充実させていくため、今回の学びや気づきを実践に活かすとともに、各園、各校内の先生方にも本日の学びをつないでいただきたいと思っております。

